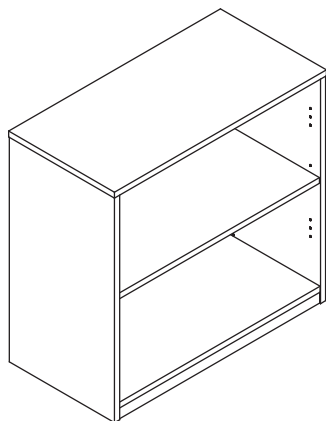


木製シェルフ



組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2 ～ 4
パーツリスト	5
各部の名称	5
組立方法	6 ～ 12
ご使用方法	13 ～ 14
お手入れ方法	15
ご使用に際して	16 ～ 17
製品仕様	18
お問い合わせ先	18

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。

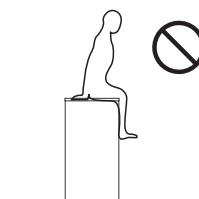


警告



禁止

- 保護者の目の届かない場所で、お子さただけで使させないでください。思わぬケガの原因となります。
- 製品の上にのらないでください。バランスをくずして転倒する、製品の破損によりケガをするおそれがあります。
- 製品の上にテレビを置かないでください。製品が転倒しやすくなってテレビが落下し重大な事故につながるおそれがあります。
- 修理や改造はしないでください。製品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。
- 製品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- フィッティングパーツは幼児の手の届くところには置かないでください。また、なくさないでください。これらは小さく、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。
- 汚れた物や湿った物は収納しないでください。収納物や本体にカビが生じる原因となります。
- 屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。
- 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
- 本体の周辺に転倒しやすい家具やインテリアを置かないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。
- 本体の側で小さなお子さまを遊ばせないでください。思わぬケガの原因となります。
- 調理家電（レンジやトースター、炊飯器）などの熱を発する機器は置かないでください。火災の原因となります。
- 背板を抜いてのご使用はしないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 製品の上部のみに片寄って収納しないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。



⚠ 警告 (つづき)	
 行う	● 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。 ● 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用すると、ケガをするおそれがあります。 ● 電化製品などを収納する場合、電化製品付属の取扱説明書をよく読み、十分に隙間をあけ通気性をよくしてご使用ください。電化製品の故障や火災の原因になります。 ● 建物の壁や天井、床などに耐震用の固定用金具や固定部材でしっかりと製品を固定してください。地震による振動で過度の負荷が掛かった場合、製品の転倒によりケガの原因となります。

⚠ 注意	
 禁止	● 耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。 ● 指定の用途以外で使用しないでください。破損してケガをするおそれがあります。 ● 収納部の1箇所に過度の荷重をかけないでください。また、無理に引っ張ったり、進行方向以外に動かしたりしないでください。床にキズがつく原因となります。 ● フェルトを貼った後、凹凸や継ぎ目などの段差のある床面では使用しないでください。フェルトがはがれると、床面を汚したり、キズつけたりする原因となります。 ● 天板や棚板の一部に片寄る過度な荷重は加えないでください。変形や破損の原因となります。 ● 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分がはずれてケガの原因になることがあります。 ● 乳幼児の衣類などは収納しないでください。本体の素材特有の臭いが移り、健康を害するおそれがあります。
 行う	● 組み立て、設置の際は、手や指をはさまないようにしてください。ケガをする原因となります。 ● ①棚板は、②シャフトと欠きこみを確実に取り付けてください。取り付けが不完全だと①棚板がはずれて物が落ち、破損、ケガをするおそれがあります。 ● 使い始める時は、室内の換気を十分にしてください。接着剤などに含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状をおこすおそれがあります。 ● 部屋の換気は定期的に行ってください。特に下記の条件ではカビやダニが生じやすく健康を害するおそれがあります。 ・ 湿度の高い季節 ・ 冬季など外気が冷たく、室内温度との差により結露が生じる場合 ・ 過度な加湿器の使用 ● 移動させる際は、収納物を取り除き、大人2人以上で移動させてください。1人で無理に移動させると、破損、ケガをするおそれがあります。 ● 壁から少し離して設置してください。空気の滞留や壁側の結露を防ぎ、カビの発生防止になります。また、壁に直接触れないことで、壁紙の変色防止にもなります。 ● 小さなお子さまのいるご家庭では角部に市販の保護材を使用してください。転倒などした場合に、ケガを防いでくれます。 ● 底板は取り付けた状態でご使用ください。(底板を底面からはずして使用する際は P13 をご覧ください必ず底板を背板側に立て掛けて取り付けてください。) 取り付けずに使用すると強度が低下し破損によりケガをする原因となります。

⚠ 注意 (つづき)



行う

- 必要なパーツは必ず取り付けて使用してください。取り付けが不完全だと強度が低下し、揺れや破損、ケガをするおそれがあります。
- 組み立て中にパーツなどの不足、不備があった場合は、組み立てを中止してください。取り付けが不完全だと強度が低下し、破損、ケガをするおそれがあります。
- 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたら、③カムナットを締め直してください。使い始めはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。

お願い (その他 注意)

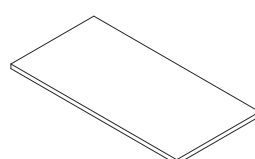
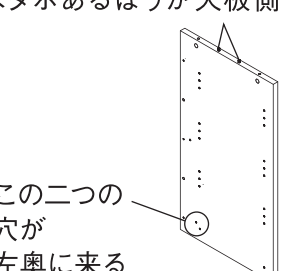
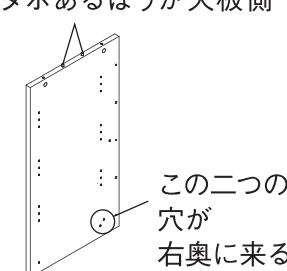
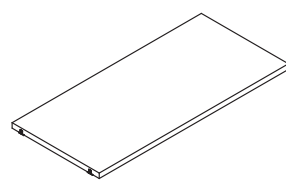
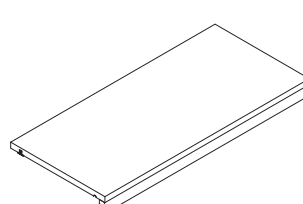
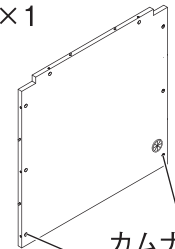
- 使用時は、脚底面にフェルトなどの保護材を貼ったり、敷物を敷いたりしてご使用ください。床へのキズ防止、また、クッションフロアーなどの場合は木部の塗料とクッションフロアーの反応による変色を防いでくれます
- 直射日光や冷暖房器具などの熱や風が製品に直接当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。
- 製品に直接熱い物や濡れた物を置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変色、カビなどの原因となります。
- 突板や天然木の上にビニール製品（塩化ビニル樹脂など）を直接、長期間置かないでください。変色や表面がはがれる原因となります。
- 鉄でできたものを製品の上に直接置かないでください。天板が濡れていたりすると、鉄成分によって表面が黒く変色するおそれがあります。
- 暖房器具使用時は、室内温湿度を適正に保ってください。冬場などの暖房器具による室内の極端な乾燥は、天然木材の割れや反りの原因となります。
- 製品の上で陶器など底のざらついた物を直接置いて引きずらないでください。天板がキズがつく、凹む原因となります。
- 開封後の梱包材は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
- 塗装やプラスチック部にアルコールを含む消毒剤などが垂れた場合にはすぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。
- 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

パーツリスト

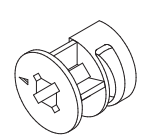
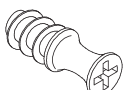
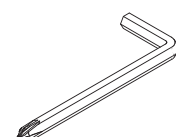
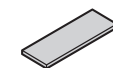
オーク材突板

ウォールナット材突板

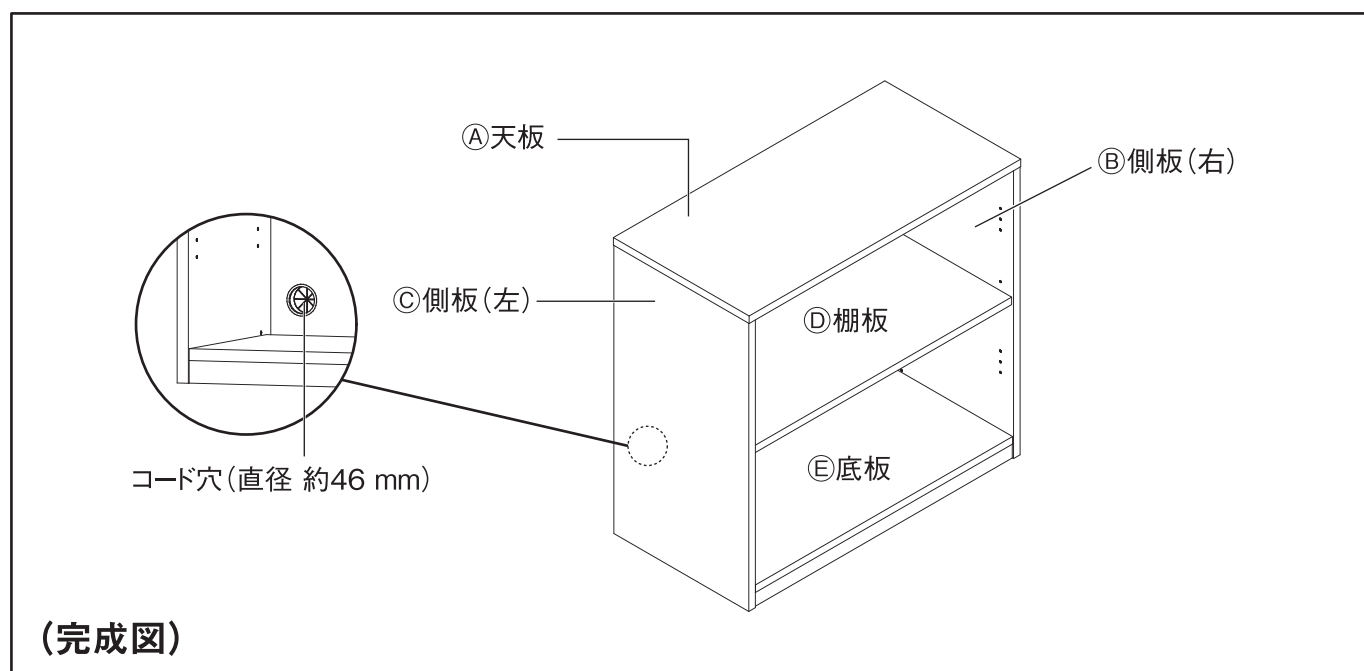
共通

①天板×1  穴面が下	②側板(右)×1 木ダボがあるほうが天板側  この二つの穴が左奥に来る	③側板(左)×1 木ダボがあるほうが天板側  この二つの穴が右奥に来る
④棚板×1 	⑤底板×1 	⑥背板×1  カムナット穴が見える方が背面側です。

フィッティングパーツ

①カムナット×12 	②カムシャフト×12 	③シャフト×10 (予備×2含む) 	④ドライバー×1 	⑤フェルト×6 (予備×2含む)  ※4枚は本体(底面)に取り付け済です。
--	---	--	--	--

各部の名称



組立方法

オーク材突板

ウォールナット材突板

共通

※組み立て方法はオーク材突板・ウォールナット材突板ともに共通です。

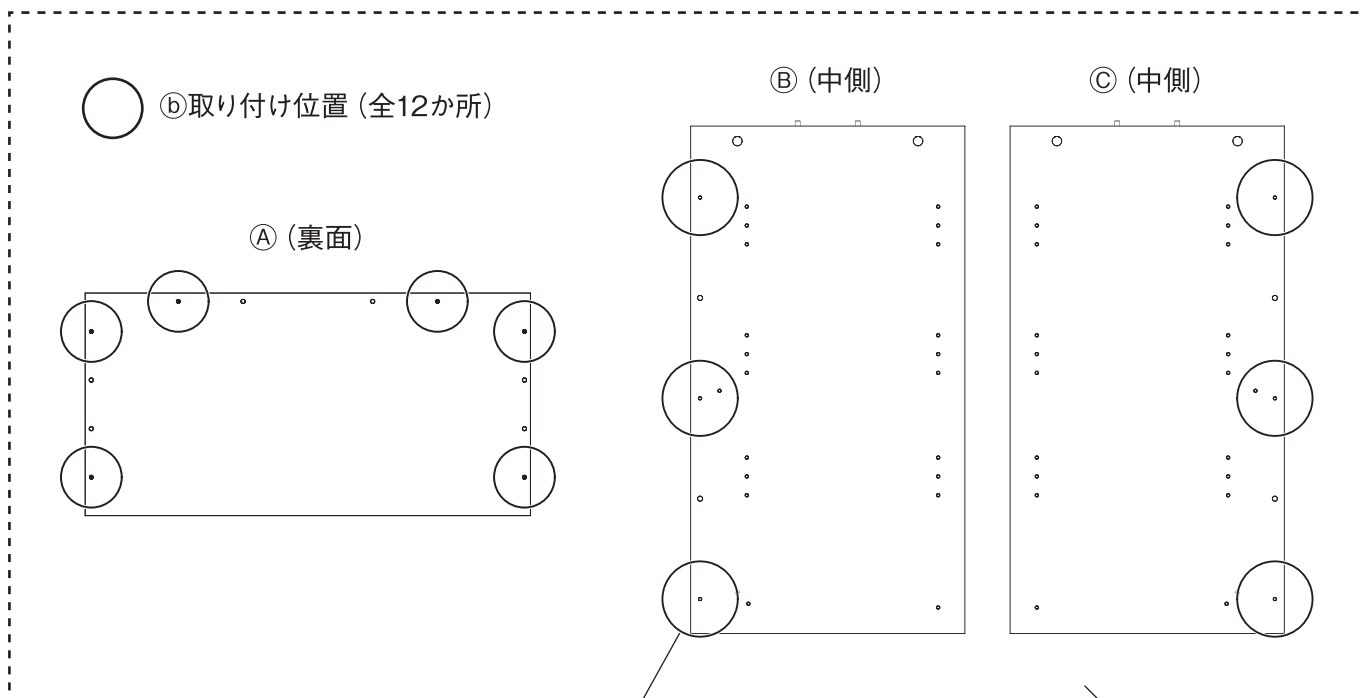


注意

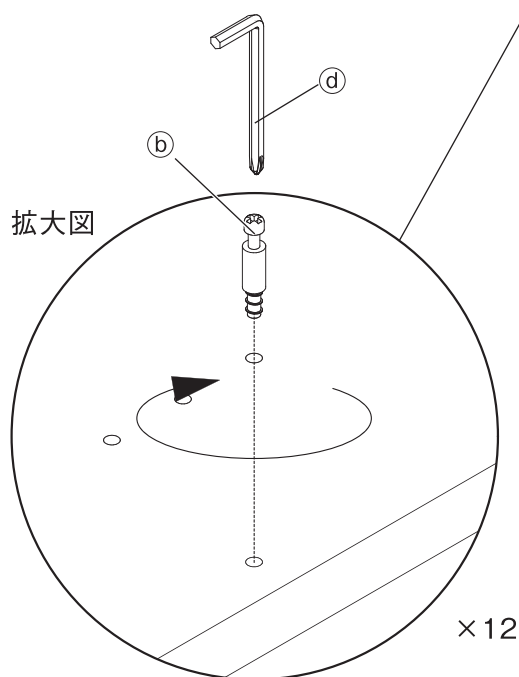
- ❗ 組み立ては、大人2人以上で行ってください。1人で作業すると、転倒や破損、床をキズつける、ケガの原因となります。
- ⊘ 組み立てには付属の④ドライバーを使い、電動工具を使用しないでください。無理な負荷がかかると、製品破損によりケガをするおそれがあります。

1

① ④天板、⑤側板(右)、⑥側板(左)に、④を使って⑤を取り付けます。



敷物



上図から取り付け位置を確認し、
④を使って⑤を締め込んでおきます。

使用するパーツ

- ④天板×1
- ⑤側板(右)×1
- ⑥側板(左)×1

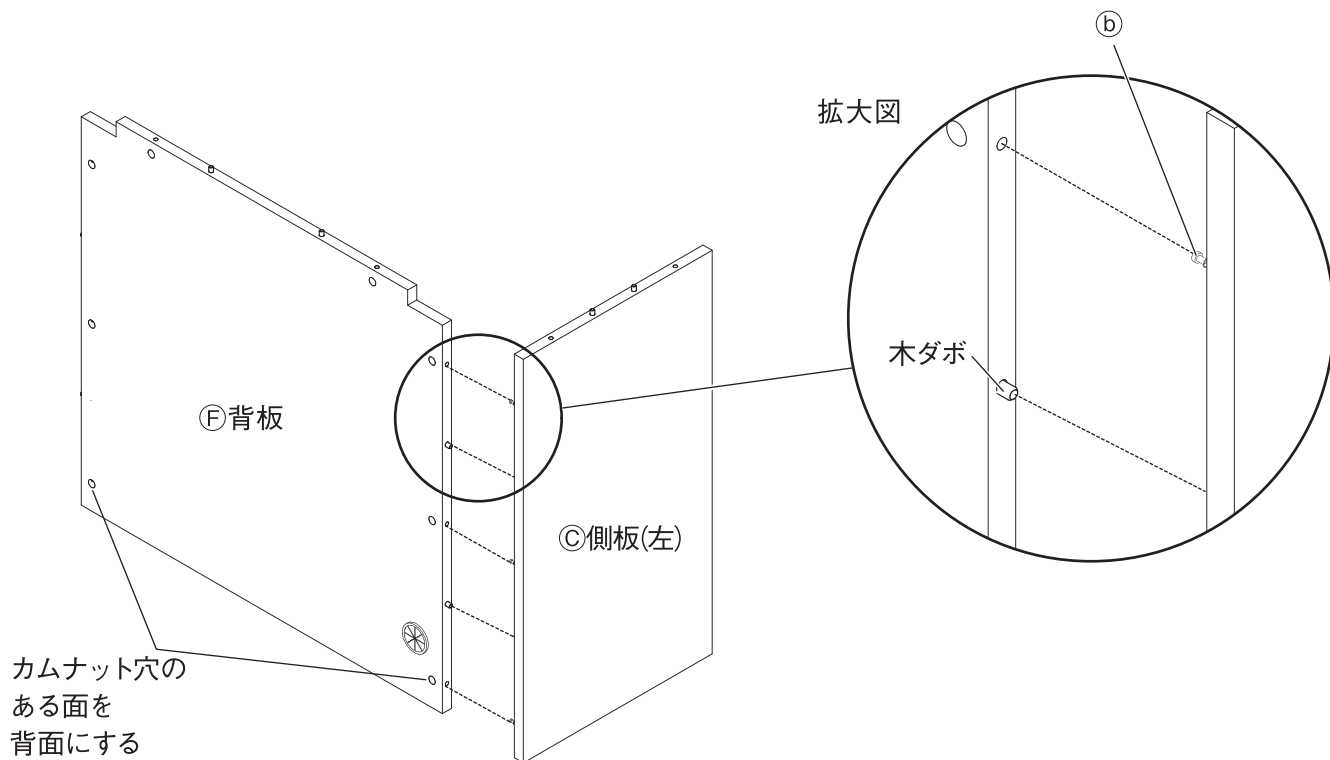
使用するフィッティングパーツ

- ⑤×12
- ④×1

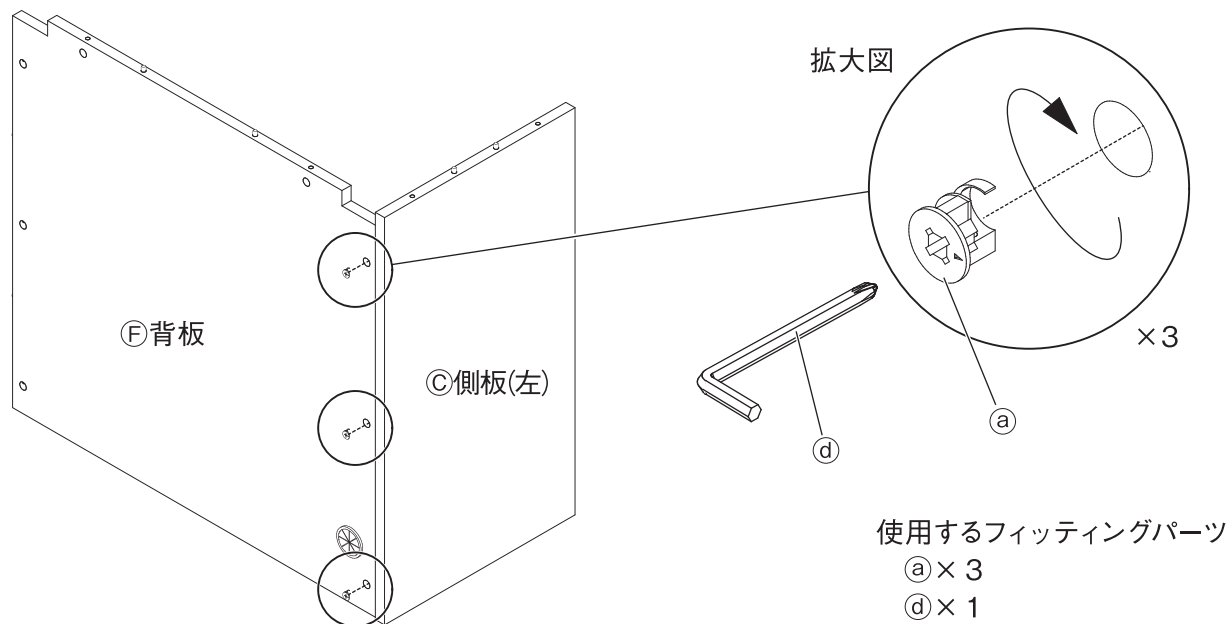
2

③側板(左)を⑤背板に取り付けます。

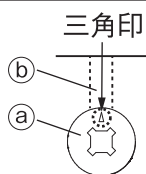
① **1** で取り付けした③側板(左)の⑥を木ダボとともに、⑤背板に取り付けます。



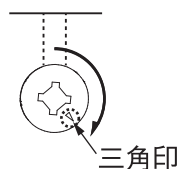
② ③を④を使って図の3か所に、「③カムナットの取り付け方」を参照しながら取り付けてください。



③カムナットの取り付け方



③の三角印を④の
ほうに合わせます。

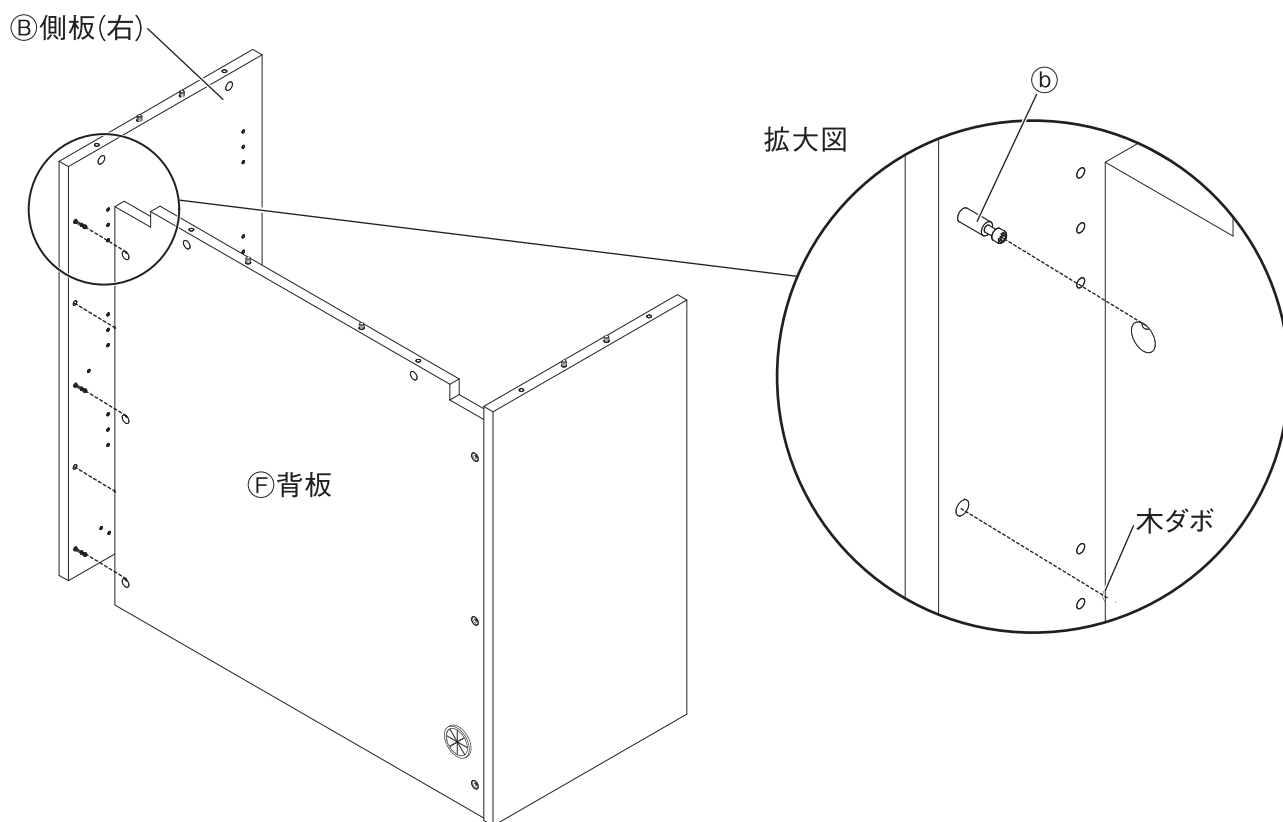


④を使って時計回りに
止まるまで回します。
(約120°)

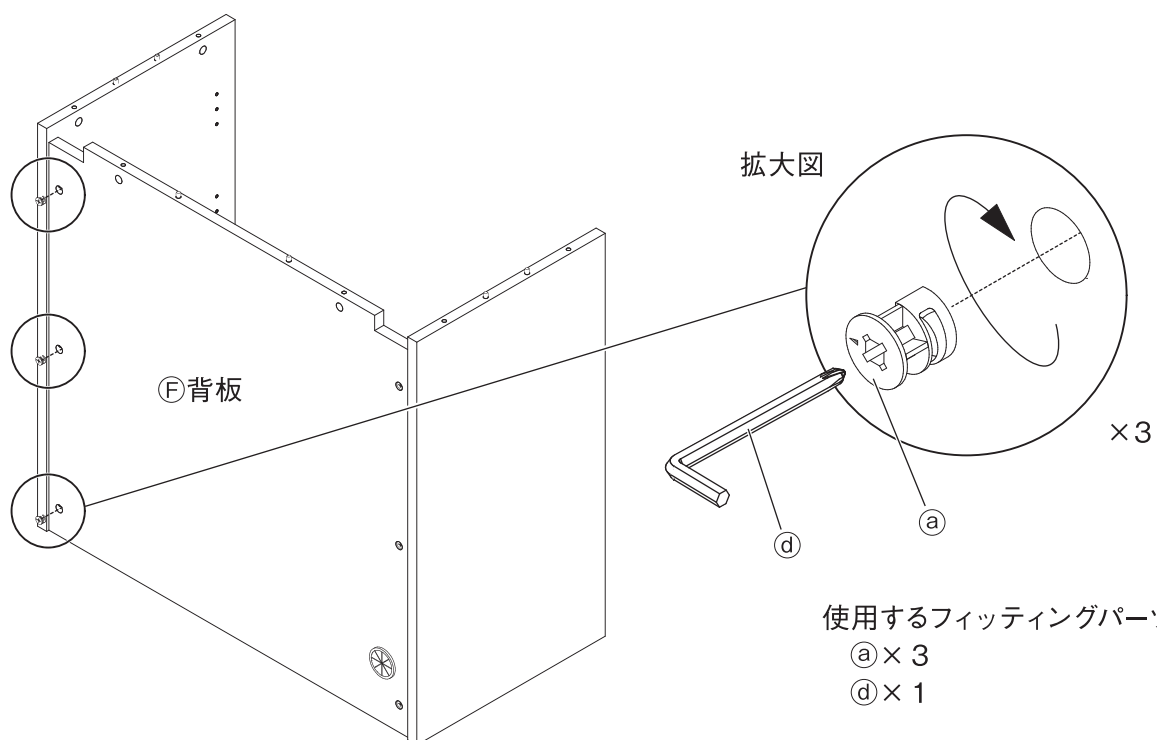
3

③側板(右)を⑤背板に取り付けます。

① ③側板(右)の⑥を木ダボとともに、⑤背板に取り付けます。



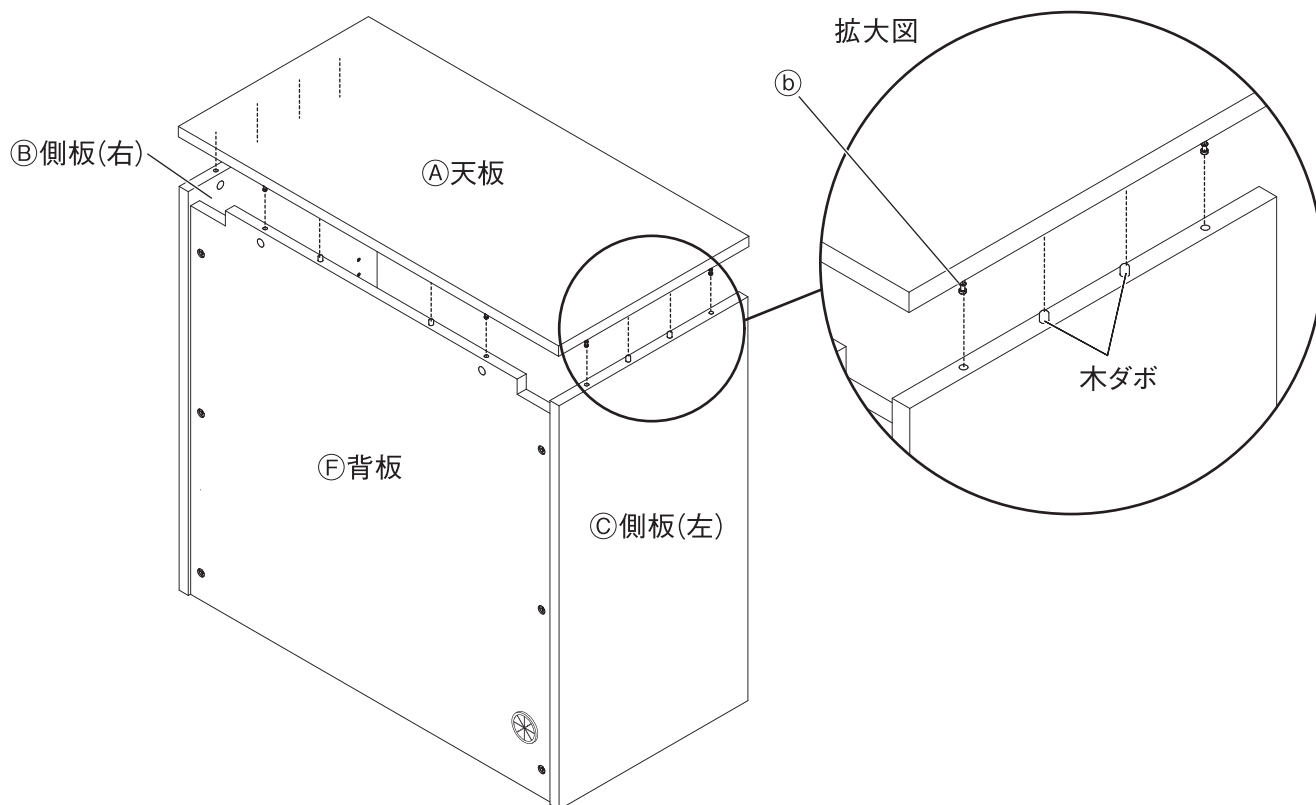
② ③を④を使って図の3か所に、「③カムナットの取り付け方」を参照しながら取り付けてください。



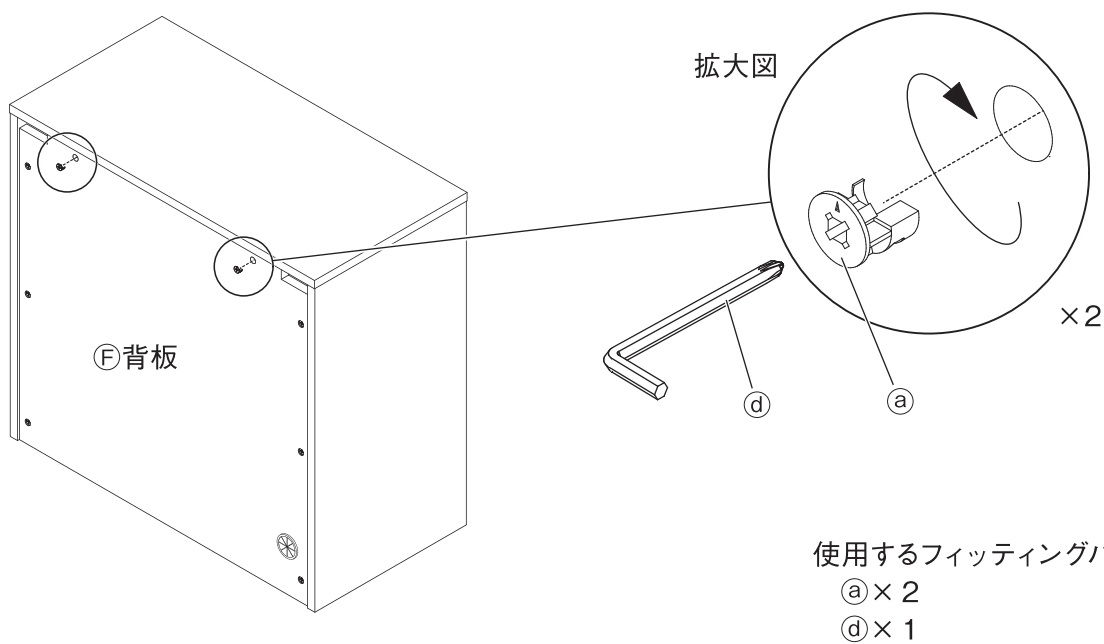
4

④天板を取り付けます。

① ①で取り付けした④天板の⑤を木ダボとともに、⑥側板(右)、⑦側板(左)、⑧背板に取り付けます。



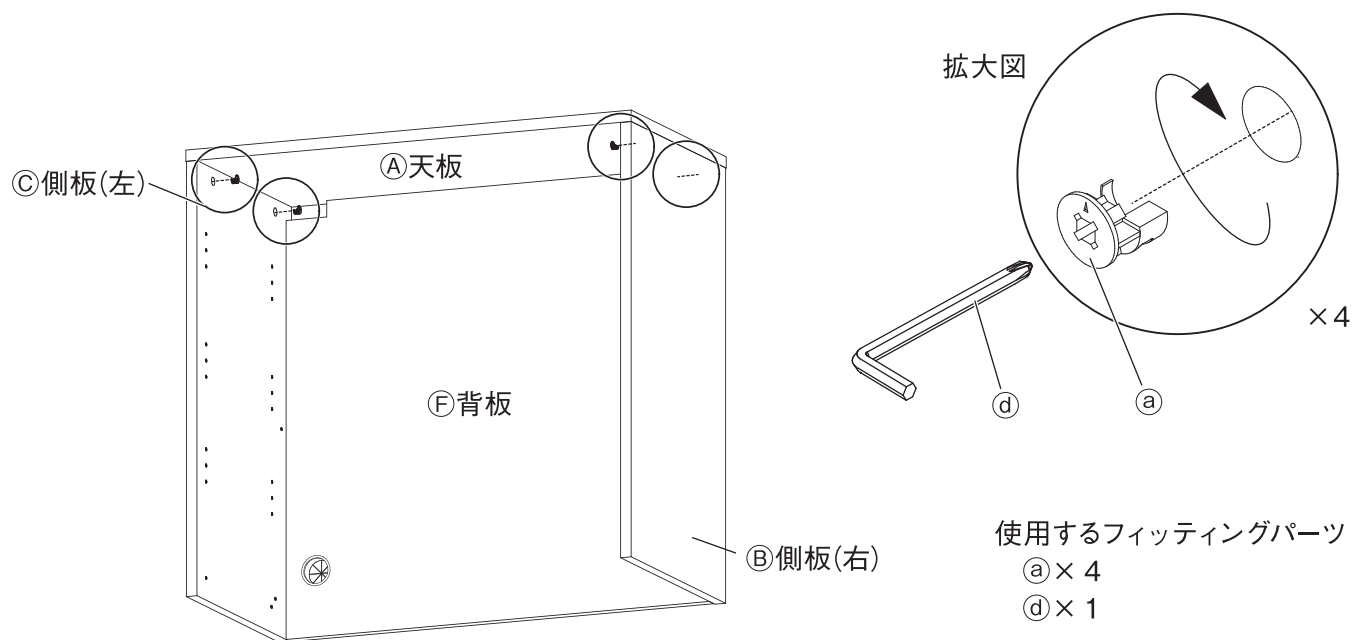
② ②を③を使って図の2か所に、「②カムナットの取り付け方」を参照しながら取り付けてください。



4

(つづき)

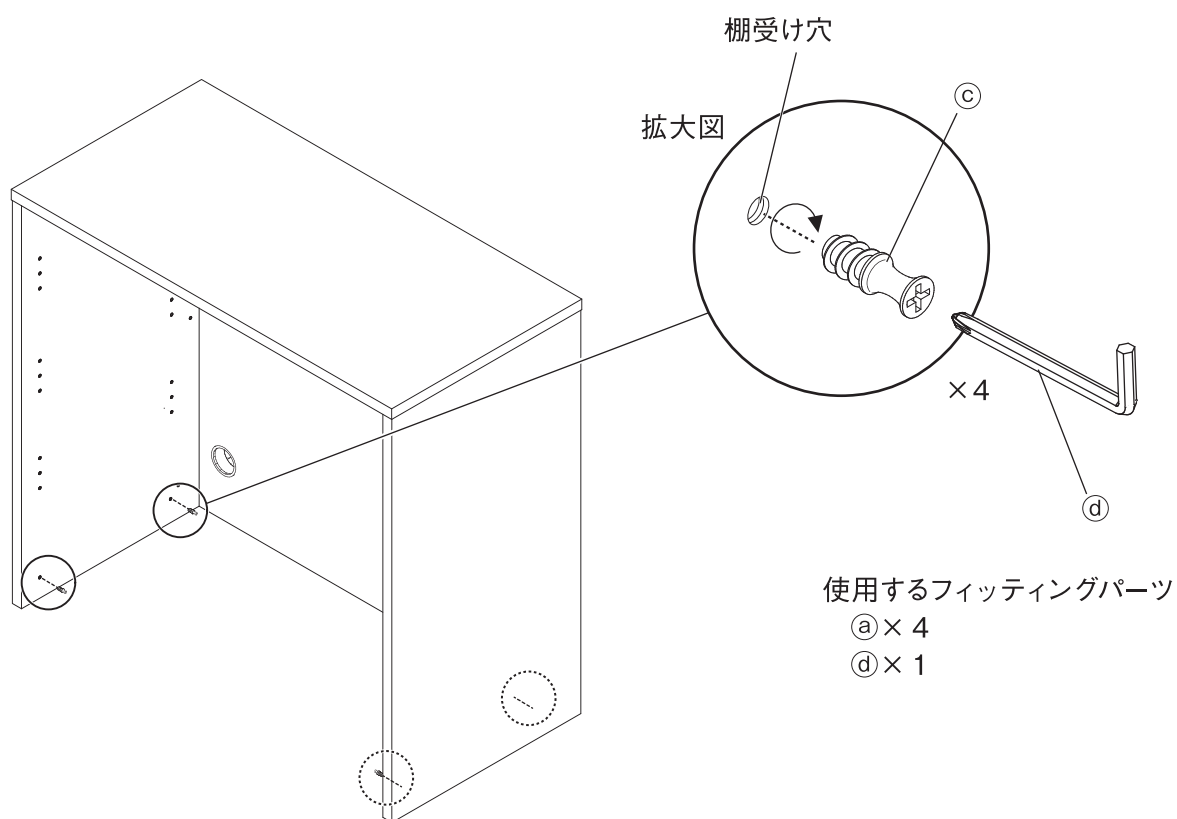
③ ①を②を使って図の4か所に、「①カムナットの取り付け方」を参照しながら取り付けてください。



5

⑤底板を取り付けます。

① 下のイラストの位置に、③を④で取り付けます。



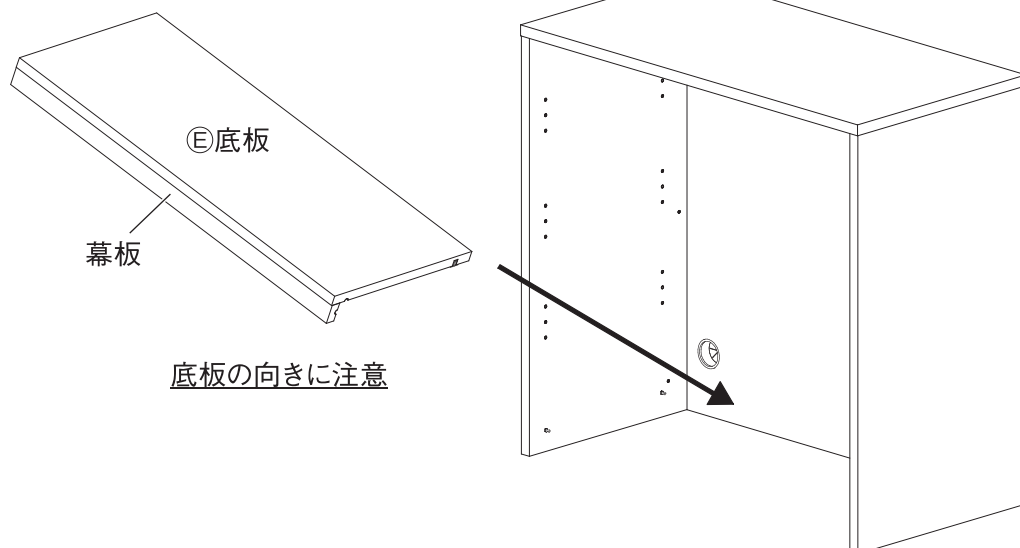
5

(つづき)

② **5**①で取り付けけた㉔に㊦底板を幕板を前にして取り付けます。

使用するパーツ

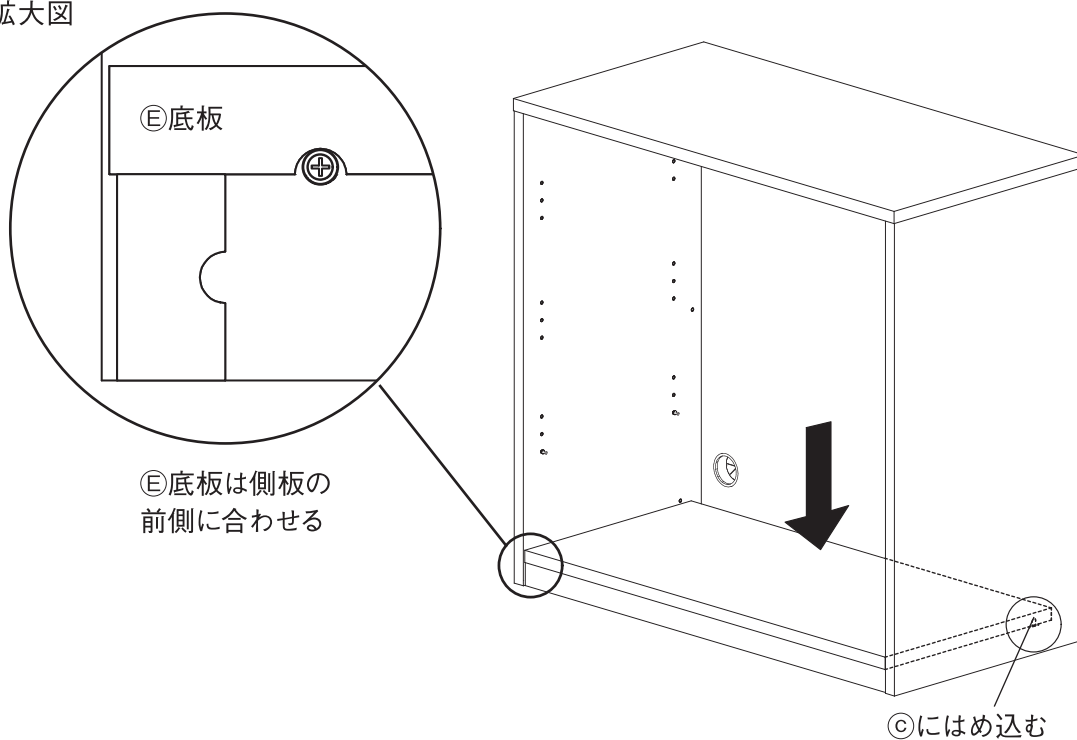
㊦底板× 1



③ ㊦底板の奥側を押し、㊦底板裏の欠きこみを㉔にはめ込み、前側を下ろして固定して完了。

※㊦底板を立て掛けて使用する場合は、P13 をご参照の上、取り付けます。

拡大図



6

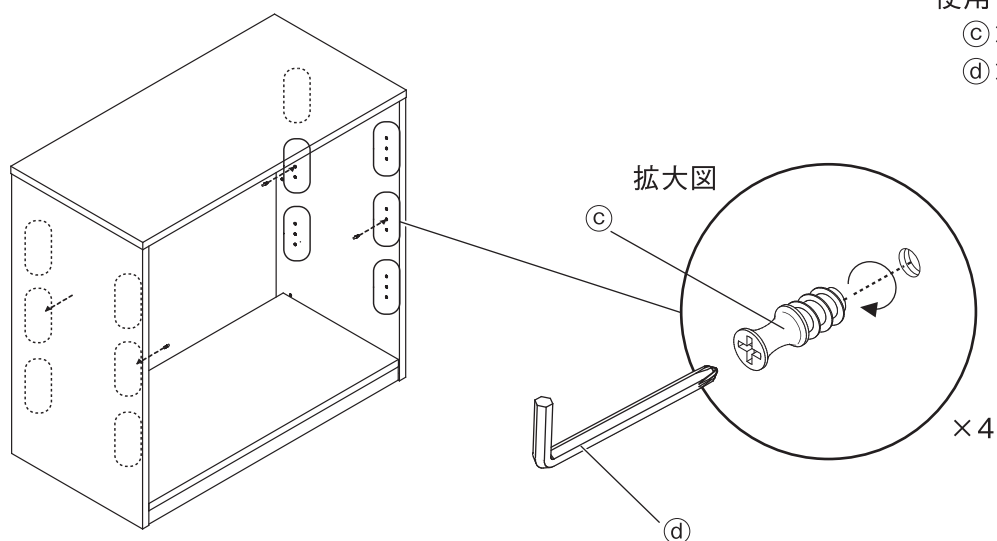
④棚板を取り付けます。

① ③を④を使って好みの高さに取り付けてください。(4カ所)

使用するフィッティングパーツ

③×4

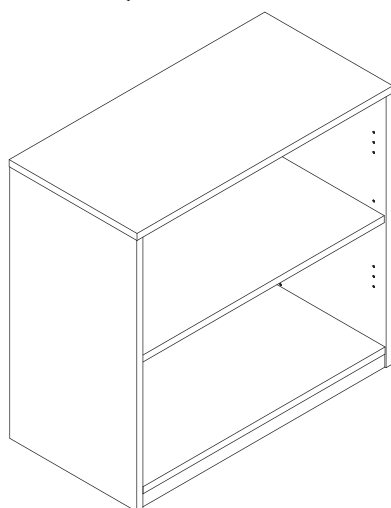
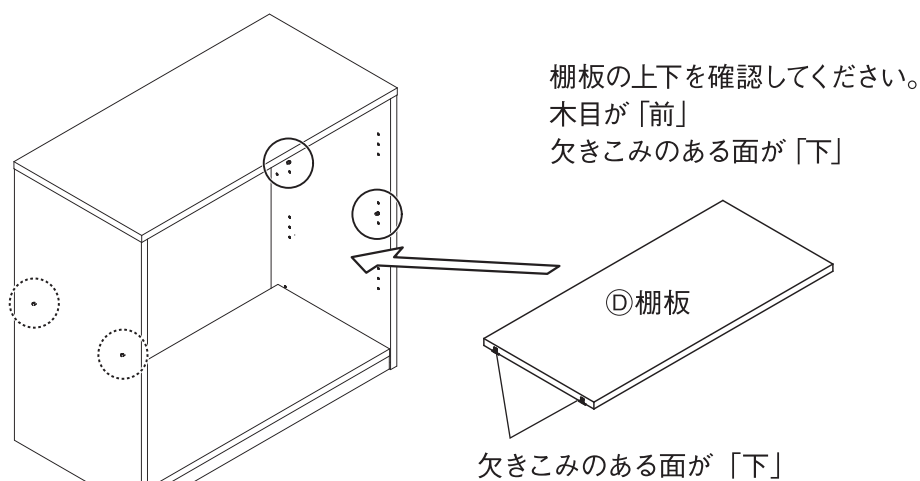
④×1



② ③を④で取り付けた後、下のイラストを参照し、④棚板の向きを合わせて設置してください。

使用するパーツ

④棚板×1



注意

❗ 組み立て後、1週間程度経過しましたら、①カムナットを締め直してください。使い始めはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。

完成

ご使用方法

底板の位置の変更方法について

本製品は、底板を状況に応じて本体から取りはずし、位置を変えることができます。



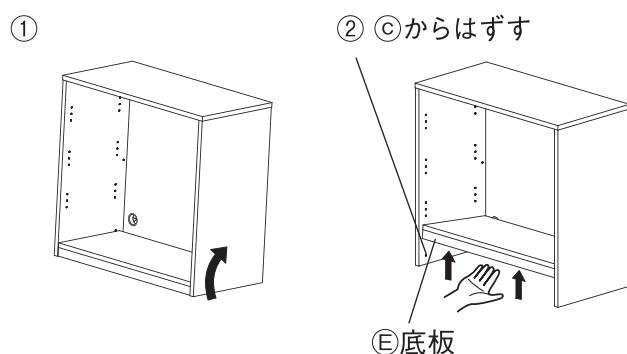
注意

- ❗ 底板は取り付けられた状態でご使用ください。（底板を底面からはずして使用する際は必ず底板を背板側に立て掛けて取り付けてください。）取り付けずに使用すると強度が低下し破損によりケガをする原因となります。
- ⊘ ㉔を何度も付け替えしないでください。何度も付け替えると強度が低下するおそれがあります。

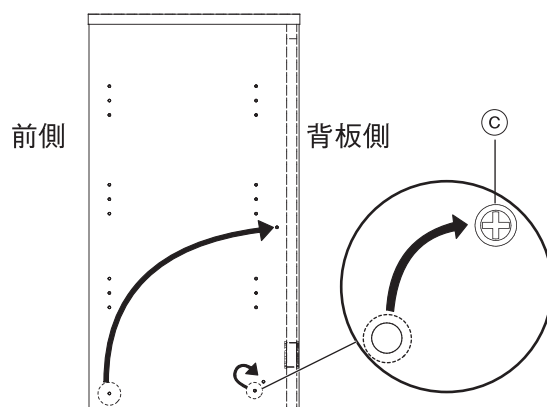
■立て掛けて取り付ける場合（底面→立て掛け）

※事前に棚板ははずしておいてください。

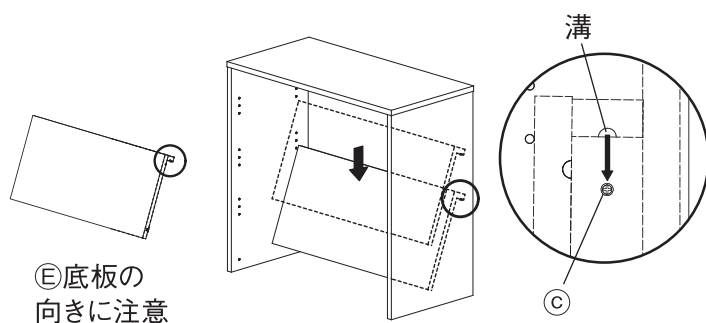
- 1** 本体から㉔底板をはずしてください。



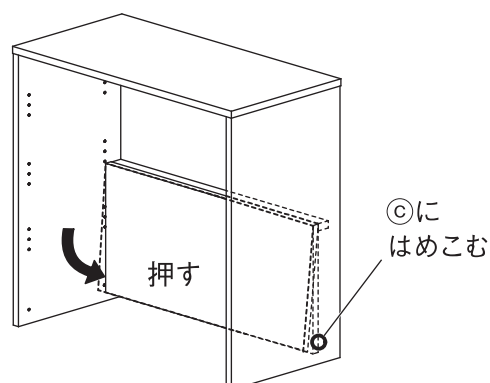
- 2** 左右の側板㉔を、㉕を使って図の位置に付け替える。（4カ所すべて）



- 3** 付け替えた㉔に 1 ではずしておいた㉔底板の幕板部分をかけてください。



- 4** ㉔底板の下側を押し、㉔底板裏の欠きこみを㉔にはめ込み、固定できたら完了。

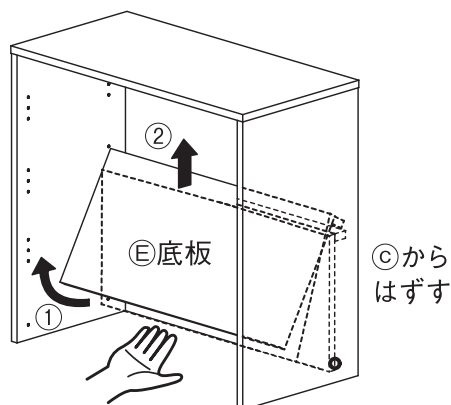


ご使用方法 (つづき)

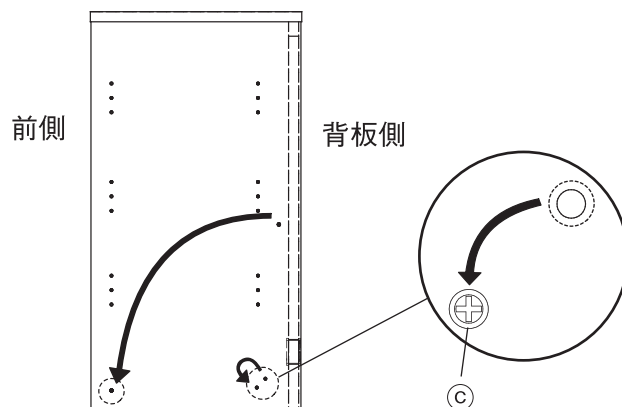
■底面へ取り付けの場合 (立て掛け→底面)

※事前に棚板ははずしておいてください。

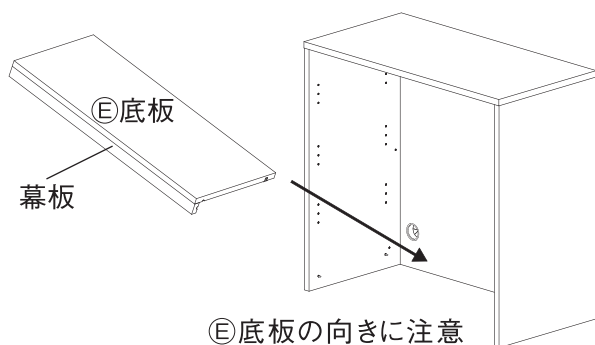
- 1** ① ㊦底板の下に手を入れ、少し手前に引き、下の㊸から底板をはずす。
② そのまま底板を上を持ち上げ、本体からはずす。



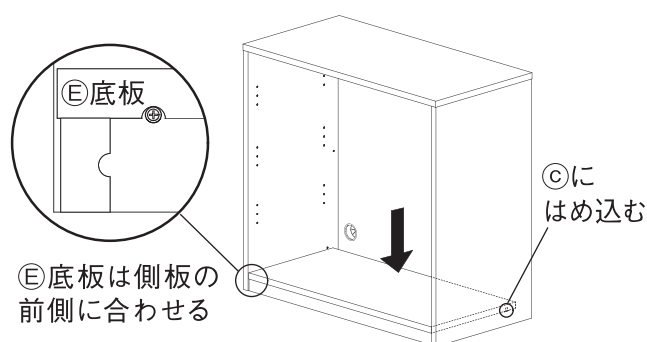
- 2** 側板の㊹を、㊺を使って図の位置に付け替える。(4カ所すべて)



- 3** ①でははずした底板の幕板を前にして、上から本体に取り付ける。



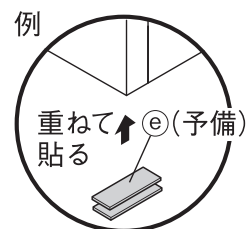
- 4** ㊦底板の奥側を押し、底板裏の欠きこみを㊸にはめ込み、前側を下ろして固定して完了。



設置について

●設定後のフェルト調整について

設置したときにカタカタする場合は、予備として同梱しました㊻を重ねて底面に貼って高さを調整してください。



移動について

●移動させる際は、製品を引きずらないでください。製品破損や床面へのキズ、ケガしたりするおそれがあります。



注意

❗ 移動させる際は、収納物を取り除き、大人2人以上で移動させてください。1人で無理に移動させると、破損、ケガをするおそれがあります。

廃棄について

●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。
- 汚れのひどい時は、3～5％に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。

金属部のお手入れ

- 毎日のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5％に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 金属部には、防錆潤滑油を薄く塗り、やわらかい布で軽くふき取ってください。

保守・点検

- 各部にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用すると、ケガをするおそれがあります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

ご使用に際して

背板の穴は別売りの転倒防止金具を取り付けるためのものです。

転倒防止金具 (別売り) の取り付け方法

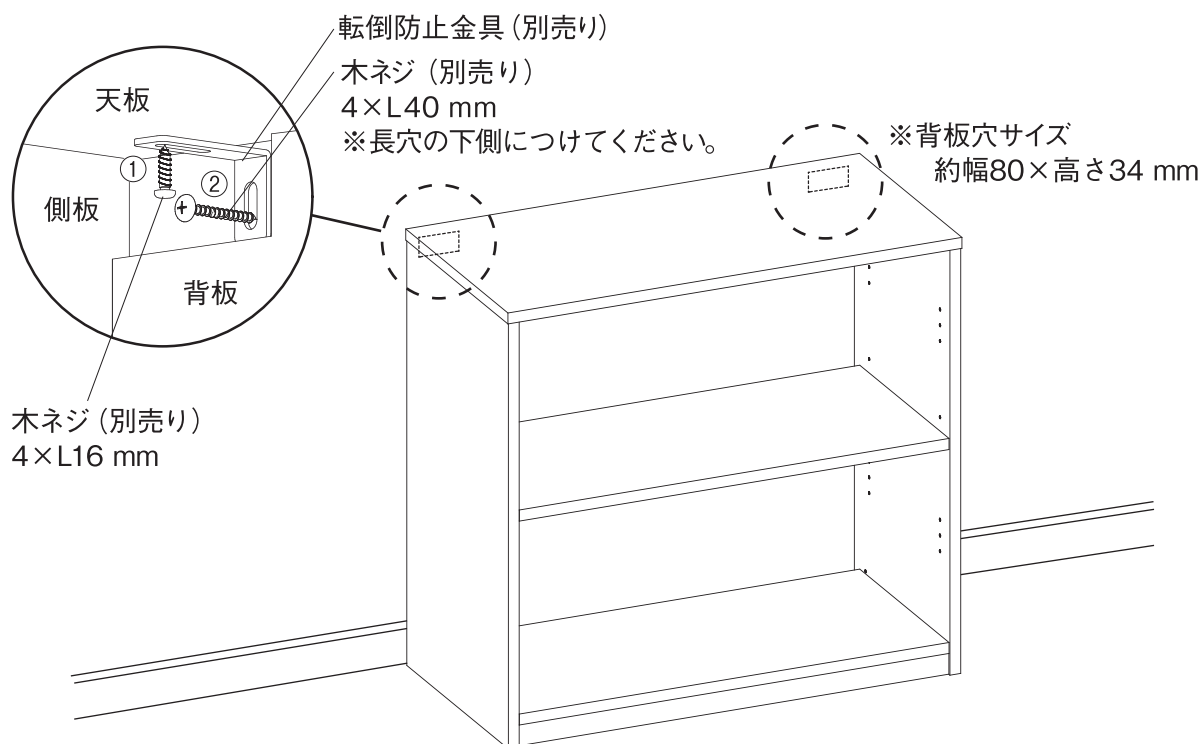


警告

- ❗ 転倒防止金具 (別売り) は、製品を壁に固定するための補助パーツです。必要に応じてご使用ください。
(※耐震用ではありませんので耐震用の固定用金具は別途準備し、取り付けてください。)
- ❗ 下記の手順に従って製品を壁にしっかりと固定してください。しっかりと固定できないと転倒してケガをするおそれがあります。
- ❗ 作業時には、必要に応じて保護メガネなど保護具を着用してください。思わぬケガをするおそれがあります。

本体を壁面に設置します。以下の手順で取り付けてください。

- ① 別売りの転倒防止金具を背板穴に入れ、④天板の下穴に対して木ネジ (別売り) で固定してください。
- ② 転倒防止金具を壁に固定してください。その際、柱や壁の下地 (間柱) をご確認ください。材質が木材の場合は木ネジ (別売り) で固定してください。壁の材質が木材以外の場合は、壁の材質に適したネジ類 (市販品) をお買い求めください。



⚠ 警告



行う

- ❗ 壁の状態をお確かめの上で、壁の素材に適したネジ類を使用してください。適していないものでは強度が得られず、転倒して製品の破損や思わぬケガをする原因となります。
- ❗ 製品と壁に固定したネジなどは、確実に取り付けたことを点検し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい揺れや衝撃が加わった後にも必ず点検してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、製品の転倒防止金具の設置位置を変えて、取り付けてください。同じ場所に取り付けると強度が低下するおそれがあります。
- ❗ 転倒防止金具は取り付け方法をよく読み、正しく取り付けてください。誤って取り付けた状態では強度が弱まり、製品が転倒し、ケガをする原因となります。誤った取り付けによって生じた事故や損害については、責任を負えません。

ご使用に際して（つづき）

天然木について

- 本製品は天然木（突板）を使用しているため、製品ごとに天然木材特有の個体差（木目や色合いなど）がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木（突板）は下記の条件により、割れや反りなどが発生するおそれがありますので、ご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ・冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限り避け、必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてください。
 - ・特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因となります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気について



❗ 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。特に複数の家具を同時に設置した場合は、窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客さまへ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質の許容量には個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談されることをおすすめします。
- ホルムアルデヒド吸着・分解シートについて
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまで少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、無印良品の家具には、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを同梱しています。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

製品仕様

品 名	木製シェルフ オーク材突板	木製シェルフ ウォールナット材突板
J A N	4550512851486	4550512851561
製 品 寸 法	幅880×奥行440×高さ830 mm	
製 品 重 量	約36 kg	
棚 板 寸 法	幅833×奥行384 mm	
耐 荷 重	棚板：約10 kg 底板：約20 kg	
用 途	収納家具(シェルフ)	
材 質 (オーク材突板)	天板：天然木化粧繊維板(オーク材突板フラッシュ構造) 内側 赤くるみ突板 芯材 パーティクルボード 棚板・背板：プリント紙化粧繊維板(フラッシュ構造) 芯材 パーティクルボード 側板：天然木化粧繊維板(オーク材突板フラッシュ構造) 内側 プリント紙化粧繊維板 芯材 パーティクルボード 底板：プリント紙化粧パーティクルボード 表面加工：ウレタン樹脂塗装	
材 質 (ウォールナット材突板)	天板：天然木化粧繊維板(ウォールナット材突板フラッシュ構造) 内側 赤くるみ突板 芯材 パーティクルボード 棚板・背板：プリント紙化粧繊維板(フラッシュ構造) 芯材 パーティクルボード 側板：天然木化粧繊維板(ウォールナット材突板フラッシュ構造) 内側 プリント紙化粧繊維板 芯材 パーティクルボード 底板：プリント紙化粧パーティクルボード 表面加工：ウレタン樹脂塗装	
原 産 国	中国	

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ
 **0120-14-6404**